

上越市立水族博物館  
うみがたり  
JOETSU AQUARIUM

〒 上越市五智2-15-15  
☎ 025-543-2449 休 無休  
🕒 春期(3月)平日10:00~17:00、土日祝9:00~18:00  
4月以降はお問い合わせください。  
※上記は最終入館時間。閉館は最終入館時間の30分後です。  
料 大人(18歳以上)1,800円、  
高校生1,100円、  
小・中学生900円、  
幼児(4歳以上)500円、  
シニア(65歳以上)1,500円



もっと楽しむための  
裏情報満載!  
うみがたり  
2018年6月、「上越市立水族博物館 うみがたり」がオープンした。見どころ満載な同館だが、中でも飼育数世界一を誇るマゼランペンギンミュージアムは、知れば知るほど面白い。楽しむためのヒントをいくつかご紹介しよう。

### マゼランペンギン楽しさ倍増特集 マゼランペンギンミュージアムは、 生息地の様子を再現

水の中を泳いだり、陸に上がって巣までヨチヨチ歩いたり、巣の中でくつろいでいたり。「マゼランペンギンミュージアム」(2階)は、間近でペンギンたちの様子を見ることができ、エリアだ。小さな子どもなら、自分の身長と同じくらい背丈のペンギンといっしょに歩いている感じになる。

「擬岩の形状や赤土のような色彩、周囲に植えられた常緑の低木、巣穴などは現地を取材するとともに、専門家の監修のもとアルゼンチンの生息地の様子を再現しています。冬の気温は上越の方が少し低いですが、ね」と、マゼランペンギンの飼育を担当する上野浩太郎さんが解説してくれた。



専門家の助言を受けながら巣穴を検討している様子  
2階マゼランペンギンミュージアム入口にあるデジタルサイネージ

歩くすぐ横を通ったり近くまで来てくれたりするので、よく観察してみよう。ただ、手を近づけたら顔を近づけたりすると、驚いたりエサと間違えてパケツと噛んだりするので、適度な距離を守って欲しいとのこと。  
2階エリア入口には、マゼランペンギンの特徴や上越市での飼育の歴史、最大生息地「ブントトンボ」を紹介するデジタルサイネージが設置されている。ここで学んでから2階エリアを歩けば、よりペンギンたちが身近に感じられるだろう。

### 飼育数世界一のペンギンを 生息地に近い環境で展示

#### 水槽の真横・真下から 飛ぶように泳ぐ姿を 観察できる

1階に降りると、水槽のガラス越しにスイスイ泳ぐ姿を、真横や真下から見ることができ。羽を広げて泳ぐ様子は、空を飛ぶ鳥のよう。お腹が白いは、下から見ると太陽光と同化して、水中の天敵から狙われないようにするため。

反対に背中が黒いのは上からの天敵に狙われないようにするためか。小さな子どもにはマッピングウォール横のスペースがおススメだ。潜り込んで見上げてみよう。  
水槽の裏側に設置された「インタラクティブ・マッピングウォール」は、触ると絵が動き出すマゼランペンギンの壁イラスト。ペンギンが寝ていたり、巣を作っていたり、集まっていたり、繁殖地の生活パターンを再現している。鳴き声はアルゼンチンで録音してきたもの。「ホーツ」という短く単純な鳴き声は、自分の居場所をベアの相手に

知らせるための声。もっと長く野太い鳴き声は、メスへのアピールや縄張りの主張のために発します」と、上野さん。パターンがたくさんある鳴き声にも注目してみよう。

#### じっくり観察すると 意外な発見があつて 面白い

フィードイング(給餌)も人気だ。殺到するペンギンにエサを与えながら、上野さんが番号を叫び、もう一人の飼育員が記録していく。羽の付け根についたタグの色で一羽ずつ同時に識別し、どのペンギンが食べたか、食べないペンギン

がないかをチェックしながら与えているのだとか。また、水中でダイバーがエサを与えたり、来館者がエサを与えたりするフィードイングイベントも設けられている。  
「マゼランペンギンはベアの絆が強く、自分の相手がほかのペンギンにちょうかいを出されたり、巣の取り合いでケンカすることがあります。巣を取ったとしても、出かけている隙にほかのペンギンに入ら

れ、戻ってきてケンカになり、負けると渋々譲るといふこともありませぬ。面白いですよ」と、上野さんが教えてくれた。  
繁殖期以外は単独行動を取るが、繁殖期になるとものすごい数の中から、相手を探し出して再び同じペアで繁殖するそうだ。春が繁殖の季節だが、新施設になつて最初のヒナ誕生を期待しよう。



うみがたり飼育員  
上野 浩太郎さん  
「ペンギンは一羽一羽個性があるので、展示エリアをさっと通り過ぎるのではなく、じっくり見るととても面白いですよ」



寄り添うペンギンのベア



1階の水槽を見上げると空を飛んでいるように見える



インタラクティブ・マッピングウォールはイラストに触れると動き出し、楽しく学べる



入ると

インタラクティブ・マッピングウォール横のスペースに入ってみよう!!

こんな感じで泳ぐ姿が観察できる

再現実している。鳴き声はアルゼンチンで録音してきたもの。「ホーツ」という短く単純な鳴き声は、自分の居場所をベアの相手に



ペンギンの保身を通じた交流に対して、アルゼンチン大使から贈られた感謝状



来館者がペンギンにエサを与えるイベントもあるのでチェックしてみよう

エサを食べないペンギンがないかチェックする

